

タッチパネルタイマー

TD-386 取扱説明書

保証書付





ご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになられたあとも、いつでも見られるように保管してください。

もくじ


●安全上のご注意	1
●取扱いについて／タッチパネルタイマーの特長	2
●主な仕様	3
●各部の名称	4
●電池を入れる・交換する／スタンドを使う	5
●使い方.1 時計をあわせる	6・7
●アフターサービスについて	8
●保証書	9
●使い方.2 タイマーを使う	10・11
●使い方.3 セットしたタイマーを取り消す	12
●使い方.4 時計を設定しなおす	13
●使い方.5 表示画面の上段と下段の表示を入れ替える	13
●こんなときは	14・15

安全上のご注意

この説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を防止するためにいろいろな絵表示で説明しています。




 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う恐れのある」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険または物的損害が発生する恐れのある」内容です。
	してはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

-  ●電池や製品を乳幼児の手の届くところにおかない
誤飲の恐れがあります。万一電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
真夜中など、お近くの医師に相談できない場合は、下記へ電話して指示を受けてください。

毒性等に関するお問い合わせ先
(財)日本中毒情報センター中毒110番
(大阪)072-727-2499(24時間対応)

注意

-  ●電池は火中に投じない
→破裂する恐れがあります。
- 取扱いについて
-  ●絶対に分解しない
→故障の原因になります。
-  ●過度の衝撃や振動を与えない
→故障の原因になります。

取扱いについて

お願い

■取扱いについて

- 湿気の多い所や水のかかる所、濡れた手での使用は避ける
→故障の原因になります。
- 表示部を過度な力で押さない
また、先のとがったもの（ナイフやホーク、つまなど）で突かない
→破損の原因になります。

■保管について

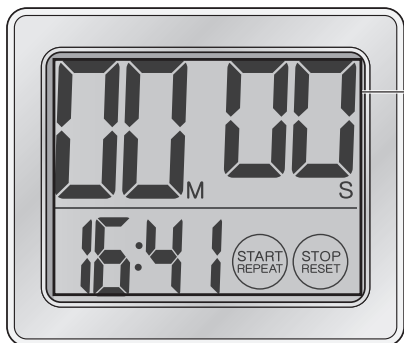
- 暖房器具に近い所、温・湿度の変化の激しい所、ほこりっぽい所に保管しない
→故障の原因になります。

■お手入れについて

- シンナーやベンジンなどは使用しない
→本体の汚れは、柔らかい布で拭いてください。

タッチパネルタイマーの特長

この製品はタッチパネルセンサーを使用しております。



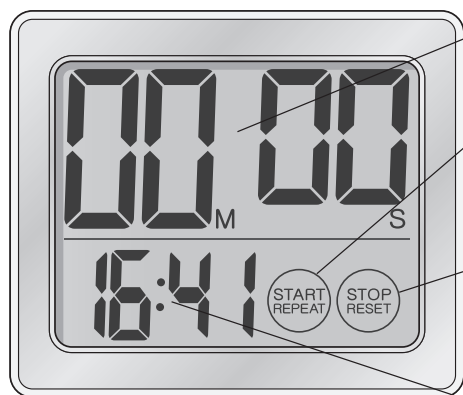
画面をタッチすると、センサーが反応します。

主な仕様

表示方法	LCD表示
タイマー機能	カウントダウン方式
時計精度	平均月差±30秒以内
セットタイム	最小：1秒 最大：99分99秒
アラーム時間	電子ブザー音 約60秒
音量	70dB
電源	C1.5V LR44×2個
電池寿命	約1年（1日1回30秒鳴らした場合）
使用温度	0℃～+40℃
外形寸法	D 14.5×W 81.0×H 69.0mm
質量	約82g
主な材質	本体：ABS
	電池フタ：ABS
生産国	中国

各部の名称

〔表面〕



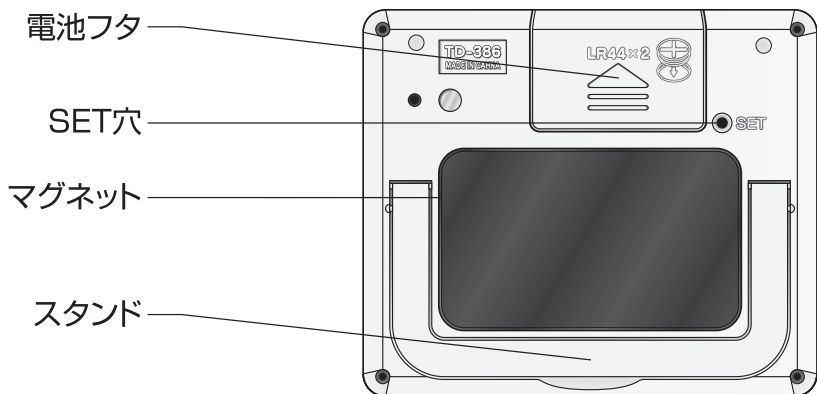
表示部上段

START/REPEAT
(スタート／リピート)
キー

STOP/RESET
(ストップ／リセット)
キー

表示部下段

〔裏面〕



電池フタ

SET穴

マグネット

スタンド

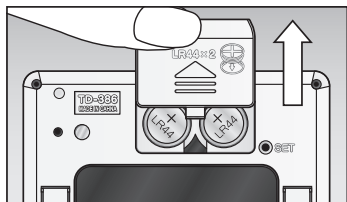
付属品

☒取扱説明書(本書)

☐LR44電池／2個

電池を入れる・交換する

表示が薄くなったり、アラームの音が小さくなったら新しい電池（LR44またはSR44／2個）と交換してください。

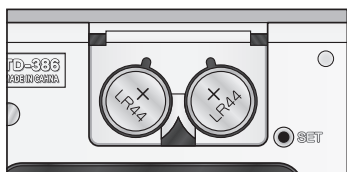


① 本体裏面の電池フタをスライドさせて外す

② 電池（LR44またはSR44）の⊕側を上にして入れる

電池を入れると「ピーツ」と音が鳴ります。

③ 電池フタを取り付ける



⚠ 注意



● 指定の電池以外は使用しない
→ 故障の原因になります。

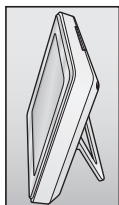
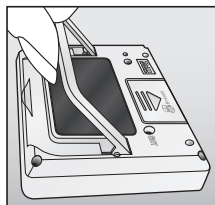


● 電池は⊕⊖の方向を正しく入れる
→ 間違えると故障の原因になります。

お知らせ

- 付属のお試し用電池は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短くなっている場合があります。
- 古い電池はお住まいの市町村区の廃棄方法に従って処理してください。

スタンドを使う



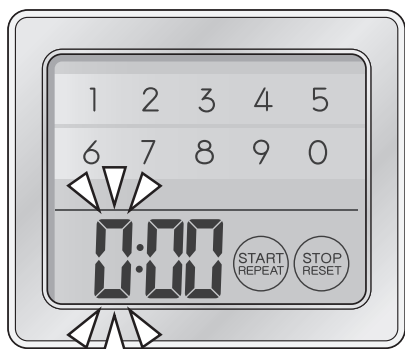
本体裏面のスタンドを軽く引き上げ、本体を立てる。

使い方.1 時計をあわせる

ご使用いただく前に、表示部に貼ってあるシールをはがしてください。

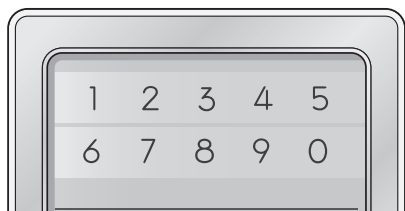
例：13:05にあわせる場合

※時計は24時間表示です。



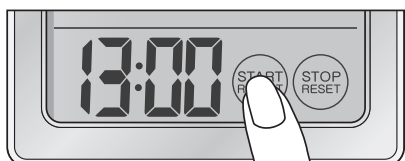
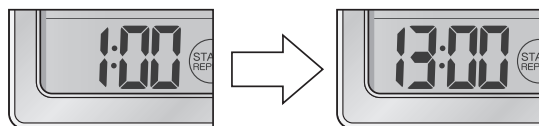
- ①電池を入れると表示部の時刻の「時」が点滅する

何も操作をしないと約1分で表示が切り替わります。



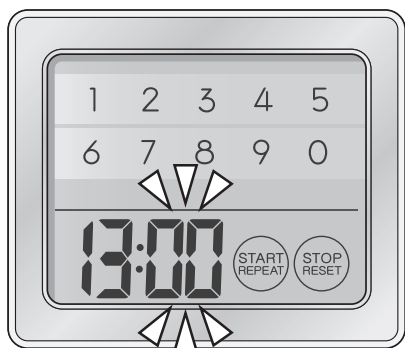
- ②表示部上段の10キーを1、3、とタッチする

表示がひとつづつ、左にずれていきます。

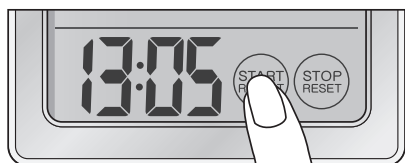


- ③「時」をあわせたら **START REPEAT** ボタンをタッチして決定する

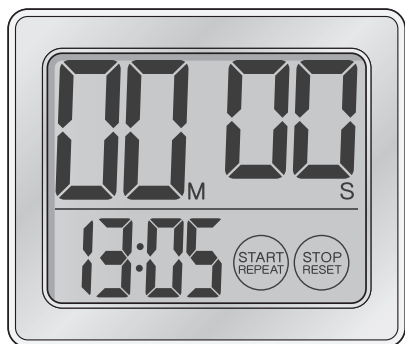
ださい。



- ④「分」表示が点滅します
「時」と同じように、表示部上段
の10キーで5、をタッチする



- ⑤「分」をあわせたら **START REPEAT** ボタン
をタッチして決定する



- ⑥画面の上段が切り替わり、上段
にタイマー表示、下段に時計
表示となる

以上で時計の設定は終了です。

アフターサービスについて

1. 保証書について

保証書は、取扱説明書に付いておりますので、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡のうえ、保証書を添えて本機をお送りください。
- 保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

3. ご不明な点はおお客様サービス相談室にお問い合わせください。

©2006 TANITA Corporation. All Rights Reserved.

株式会社 **タニタ**

本社・東京営業所	〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2	☎ 03(3558)8111(代表)
大 阪 営 業 所	〒577-0013 東大阪市長田中1-3-15	☎ 06(6784)2811(代表)
名 古 屋 営 業 所	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-19-20	☎ 052(201)6391(代表)
福 岡 営 業 所	〒816-0082 福岡市博多区麦野4-2-6	☎ 092(575)5761(代表)
仙 台 営 業 所	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-8	☎ 022(299)7161(代表)
札 幌 営 業 所	〒007-0834 札幌市東区北34条東22-1-35	☎ 011(786)5611(代表)

ホームページアドレス <http://www.tanita.co.jp>

お問い合わせ先

フリー
ダイヤル



0120-133821

受付時間/ 9:00~18:00 (土・日・祝祭日は除く)

お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客さまサービス相談室にご連絡の上、商品と保証書をお送りください。
 3. ご贈答品等で本保証書に必要事項が記入していない場合には、弊社お客さまサービス相談室へご相談ください。
 4. 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
 - イ. 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ロ. お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
 - ハ. 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - ニ. 保証書の提示がない場合
 - ホ. 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 5. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
 6. 保証書は、再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。
- ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

保 証 書

販売店様へ

ご販売時に貴店にて、保証書の所定事項(お買い上げ日、販売店様欄に捺印)をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

お客様へ

本書は、無料修理規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービス相談室に修理をご依頼ください。

※お客様の個人情報、修理完了品の発送に使用させていただき、修理品とともにご返却致します。この間、お客様の個人情報は、第三者が不当に触れることのないよう、当社規定に基づき、責任を持って管理致します。

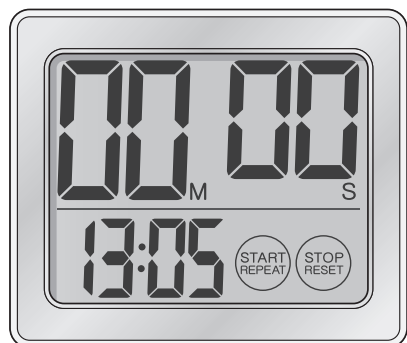
品 名	タッチパネルタイマー TD-386		
保 証 期 間	本体 お買い上げ日より1年		
お買い上げ日	年	月	日
販 売 店	ご住所・店名		
	(印)		
お 客 様	電話 ()		
	ご住所		
	お名前		
	電話 ()		
	様		

株式会社 **タニタ**

〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2
 お客様サービス相談室
 フリーダイヤル ☎0120-133821

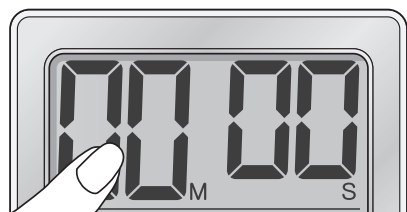
使い方.2 タイマーを使う

例：3分15秒にセットする場合.....



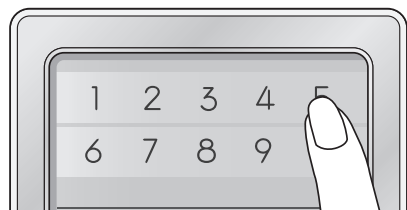
- ①表示部が「00M00s」になっているのを確認する

「00M00s」になっていない場合は  ボタンを一回タッチする。表示が「00M00s」になります。



- ②表示部の上段部分を一度軽くタッチする

画面が切り替わり、タイマー設定画面になります。



- ③10キーを「3」→「1」→「5」の順番にタッチする

表示部下段のタイマー表示が

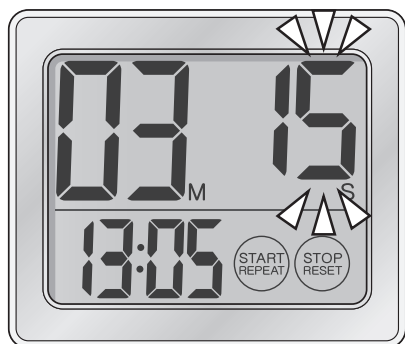


となります。



④ **START REPEAT** ボタンをタッチする

タイマー設定後、**START REPEAT** ボタンを押さない場合、約1分後に、画面は切り替わります。



⑤ 10キー画面が消え、タイマーのカウントダウンが始まる



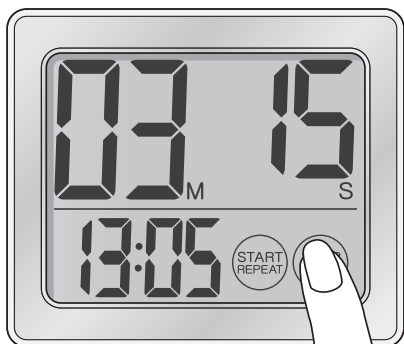
⑥ 表示が「00M00s」になるとアラーム音が鳴ります

アラーム音は約60秒鳴ります。アラーム音を途中で止める場合は、表示部をタッチしてください。

使い方.3 セットしたタイマーを取り消す



- ①表示部にセットしたタイマーが表示されているのを確認する

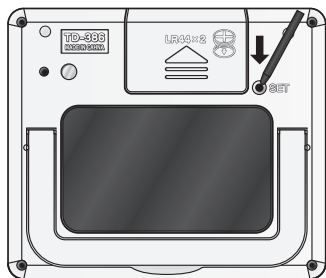


- ②表示部下段のSTOP RESET ボタンを一度タッチする



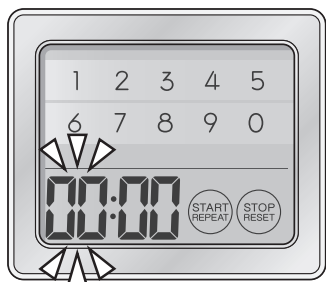
- ③表示が「00M00s」になる
セットしたタイマーが取り消されます。

使い方.4 時計を設定しなおす



- ① 本体裏面の「●SET」穴を先の細い棒などで押す

先の細い棒などの取扱いは、十分に
ご注意ください。

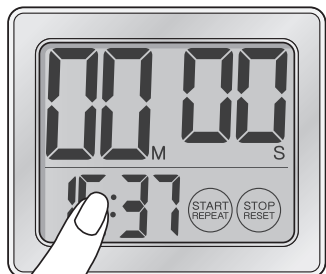


- ② 表示画面上段に10キー画面と下段に「0:00」が表示する

新たに時計を設定してください。

時計の設定方法は、本書P.6-P.7
参照

使い方.5 表示画面の上段と下段の表示を入れ替える



上段にタイマー、下段に時計が表示
されている場合

- ① 表示画面下段をタッチする

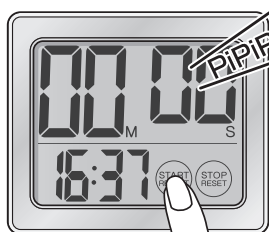
- ② 時計とタイマー表示が入れ替わる

表示部下段の画面をタッチすると
に、タイマー表示と時計表示が入れ
替わります。はじめに上段に時計、下
段にタイマーが表示している場合は、
この操作により、上段にタイマー、下
段に時計の表示になります。

こんなときは

○リピート機能を使う

リピート機能とは、毎回同じ時間をタイマーセットする場合、セットする手間が省ける機能です。



① アラームが鳴っている時に、

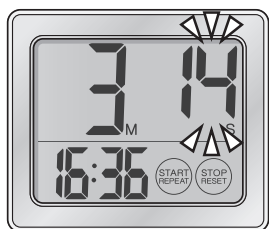
ボタンをタッチする

または、アラームが鳴り終わるのを待つ（アラーム音は、約60秒鳴ります）

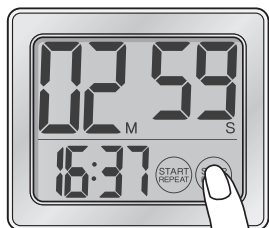


② はじめにセットしたタイマーが表示する


○カウントダウン中にタイマーを止める



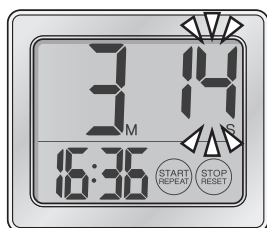
① タイマーがカウントダウンしている時に



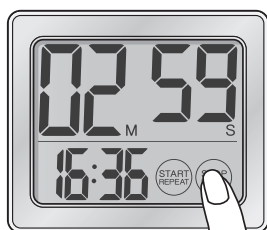
② 表示部下段の  ボタンをタッチする

タイマーのカウントダウンが止まります。再びスタートする場合は  ボタンをタッチします。

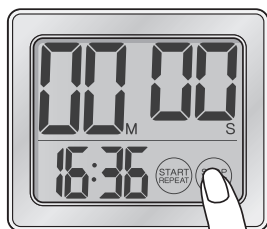
○セットしたタイマーを途中で変更する



①タイマーがカウントダウンしている
時に



② **STOP/RESET** ボタンをタッチし、タイマー
のカウントダウンを止める



③もう一度 **STOP/RESET** ボタンをタッチし、
タイマー表示を「00M00s」にし、
新たにタイマーをセットする

●タイマーのセット方法

→本書P.10-P.11「タイマーを使う」参照